

- 急激な社会情勢の変化
- 急激な人口減少
- 自然環境の破壊
- 気候変動
- 技術革新
(生成AIの進化、DX、ICTの普及) など

持続的に発展する社会

誰一人取り残さない共生社会

「対話」と「交流」による信頼関係

教師のエージェンシーとウェルビーイング
[キーワード]

- ・仕事が楽しい
- ・心身が健康
- ・教育に意欲がもてる
- ・子どもの成長を実感
- ・ワークライフバランスを保って働ける
- ・指導方法等を学ぶ機会がある
- ・同僚・保護者・地域との信頼関係があるなど

子どもや生徒のエージェンシーとウェルビーイング
[キーワード]

- ・学校が楽しい
- ・不安や心配事を解消できる
- ・自分が好き
- ・勉強がわかると嬉しい
- ・得意が伸ばせる
- ・苦手にチャレンジできる
- ・相談できる大人がいる
- ・クラスの居心地が良い
- ・人や社会の役に立つことがしてみたいなど

様々な主体のウェルビーイング

エージェンシー・コンピテンシー

核となるウェルビーイング

「様々な主体」の例

「子どもや生徒」を中心におく場合は、「友達」や「先輩」などの「個人」のほか、「クラス」や「部活」のような「グループ」や「集団」も「様々な主体」を含む。

例：保護者 → 子ども、職場、PTA、家族 など
教師 → 子ども、同僚、家庭、クラス など
地域の人 → 自治会、ボランティア、趣味の会など

最上位目標 説明図③
「集団」と「個人」のバランスについて

教師のウェルビーイング

エージェンシー・コンピテンシー

核となるウェルビーイング

○「高齢者」などを「学習者」として「子どもや生徒」の位置においた場合も同様の考え方が可能。



1人1人がエージェンシーを持ち、相互に高め合い、持続的に循環するウェルビーイングを実現

ウェルビーイング Well-being

- ・身体的・精神的・社会的に**良い状態**にあること
- ・**短期的な幸福のみならず**、生きがいや人生の意義などの**将来にわたる持続的な幸福を含む概念**

エージェンシー Agency

- ・**今ある自分を大切に思えること**。尊厳。また、**他者を自分と同じく認められること**
- ・自分が人生や周りの世界に**ポジティブな影響を与える能力と意志を持つと信じられること**
- ・**自らの意志**で、責任をもって**選択・決定し、行動を起こせること**

コンピテンシー Competencies

- ・知識、思考スキル・実技、姿勢・価値観を含む**包括的・総体的な概念**。
- ・「**資質・能力**」の**獲得だけでなく**、複雑な問題を解決するため、それらを**組み合わせ活用**（駆使）**できる力を持つこと**を含む。

地域の人々のエージェンシーとウェルビーイング
[キーワード]

- ・地域の活動（お祭り、清掃活動など）活性化
- ・地域の活動を維持できる
- ・学校や生徒との良好な関係
- ・学校の活動や意志決定に参加など

地域の人々のウェルビーイング

エージェンシー・コンピテンシー

核となるウェルビーイング

保護者のエージェンシーとウェルビーイング
[キーワード]

- ・子どもの成長を喜べる
- ・子どもの自主性や選択を尊重できる
- ・学校や地域に気軽に相談できる
- ・子どもや教師、周りの保護者と信頼関係を築ける
- ・学校や子どものために教育活動に主体的に参加など

保護者のウェルビーイング

エージェンシー・コンピテンシー

核となるウェルビーイング

(案) 最上位目標 説明図②
エージェンシー、コンピテンシー

数学、歴史、科学、美術、STEM(科学、技術、工学、数学)、実務知識、グローバル市民権、持続可能な経済成長 など

批判的思考、創造的思考、課題解決、協働、共感、自制、手先の器用さ など

好奇心、自己有用性、適応力、責任感、新しい考えを受け入れられやすい考え方、自分の努力で(自分を)成長や向上させられるという意識 など

コンピテンシー

知識
○専門的・学術的な知識
○他分野にまたがる知識
○認識論的知識
○手順の知識
or 実践的な知識

思考スキル・実技
○認知・メタ認知スキル
○社会・情動的スキル
○身体的・実践的スキル

姿勢・価値観
○個人的な ○地域的な
○社会的な ○世界的な

○知識、思考スキル・実技、姿勢・価値観を含む**包括的・総体的な概念**。
○「**資質・能力**」の獲得だけでなく、複雑な問題を解決するため、それらを**組み合わせ**て活用(駆使)できる力を持つことを含む。

変革を促すコンピテンシー
新たな価値を創造する力
対立やジレンマを調和する力
責任ある行動をとる力

基盤となるコンピテンシー

認知の基盤
読解リテラシー、数的リテラシー、デジタルリテラシー、データリテラシー

社会情動の基盤

健康の基盤
身体&メンタル

「誰一人取り残さない」観点から…
バックグラウンドが弱い児童生徒は、エージェンシーやウェルビーイングの基礎の部分に弱さがある場合がある。基礎的な学びに取り組む段階から**十分な配慮が必要**。
例 「健康でなければ(脳も反応・発達しない)学べない」
「社会情動の基盤がなければ(脳も萎縮し)学べない」 など

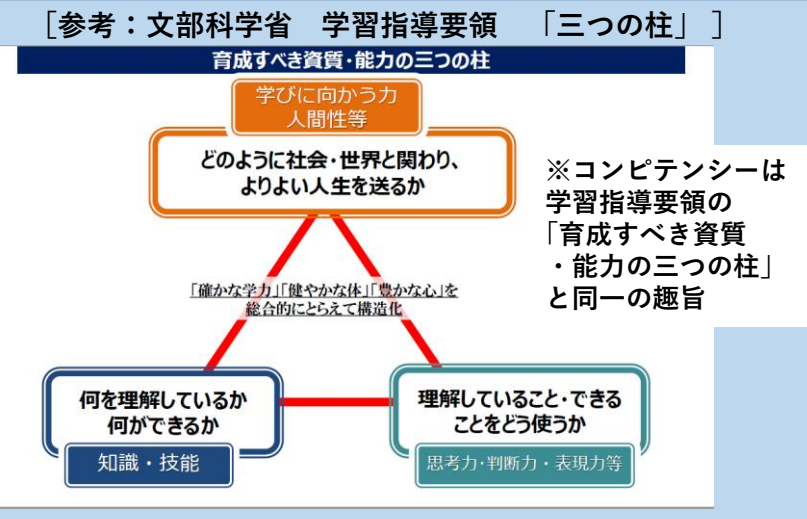
自分がゴールとして目指す
ウェルビーイング



エージェンシー

- 今ある**自分の価値を信じ、大切に思えること**
⇒ **他者を自分と同じように認められること**
- 学習者自身が、**自分の人生や周りの世界に対してポジティブな影響を与える能力と意志**を持っていると信じられること
- 自らの意志で、**責任をもって選択・決定し、振り返りながら行動を起こせること**
- 自分と他者を尊重した上で、**課題を自分事化し、自ら考え、判断して責任ある行動をとろうとする意志**
- 多様な価値観の中で、**創造的な対話**を行おうとする意志

他者や環境との関わり



「集団」と「個人」のバランスについて

グループ・集団のネガティブな面

- 「**同調圧力**」として機能する**危険性**
(例：コロナ禍のマスク強要、自粛警察など)
- 個人のエージェンシーの阻害要因**になりうる
(例：発言しにくい、チャレンジしにくい等)

集団メンバー個人としてのウェルビーイングを損なう可能性を意識することが必要

ウェルビーイング Well-being

- 多様な個人が、それぞれの幸せや生きがいを感じられることであり、**身体的・精神的・社会的に良い状態にあること**。短期的な幸福だけでなく、**生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福**を含む。
- **個人を取り巻く「場」**（※周りの環境や人間関係等を含む）や**「地域」、「社会」**が**幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念**

「**個人**」のウェルビーイングは、「**その人自身**」の条件や状態**以外**の周囲の「**文化**」、「**環境**」、「**人間関係**」等の**影響を切り離すことはできない**。

⇒ 特に**日本**では、**属する「グループ」**や**「集団」との関係**が大きく影響

“個人”を尊重できる”健全な”集団であるためのカギ

- “健全な”「集団」**や**「場」**（※周りの環境や人間関係等を含む）であるために**重要な要素**
⇒メンバーの**「多様性」**、集団の外に対する**「開放性」**、メンバー間の**「対話」と「交流」**による**「信頼関係」**があること
(外部有識者ヒア 京都大学 内田氏)
- 「**集団**」のメンバー間に、**「対話」と「交流」**による**「信頼関係」**が形成されていれば、**集団の中でも個人のエージェンシーを生かすことができる**。
(外部有識者ヒア OECD 田熊氏)

※「**グループ**」や「**集団**」は「**学校**」や「**クラス**」、「**職員室**」、「**部活**」、「**自治会**」、「**友人グループ**」、「**家族**」など**小さなものも同様の性質**を持つと考えられる。

資料2-4

グループ・集団のポジティブな面

- 個人では達成できない大きな成果**をあげることができる。
- 「**グループ**」や「**集団**」は、**その成果で**集団のウェルビーイングを向上**させる**ことができる。

○**“健全な”集団の構成員である場合、**メンバーとして個人のウェルビーイングも向上****
(ex.集団の中での自己有用感、自己効用感など)

○**集団での活動により、**社会の構成員・形成者としての自覚、責任感などの社会性、人間関係を形成する力**などを身につけることができる**

「対話」と「交流」による信頼関係

- **「個人」が尊重される健全な集団であること**
- **社会の構成員・形成者としての自覚を持てること**
= **社会課題の自分事化につながるもの**

「**社会をより良くする**」ための**意識と行動 (=エージェンシー)**へ